

バンディング展

く足環あしわでわかる鳥の渡りわたりく



共催：公益財団法人山階鳥類研究所

2020.2.1【土】－6.14【日】

イラスト：平岡 考さん

我孫子市鳥の博物館【開館時間】午前9時30分～午後4時30分【休館日】毎週月曜日(祝日の場合、翌平日)
【入館料】一般300円、大学・高校生200円、70歳以上・中学生以下・障害者手帳をお持ちの方(含付き添い
1名)は無料 20名以上の団体は入館料2割引【問い合わせ】千葉県我孫子市高野山234-3 ☎04-7185-2212



バンディング(標識調査)は、個体を識別するための標識を野生の鳥に付けて、渡りや寿命などを調べる調査です。日本では、環境省が山階鳥類研究所に委託して調査が行われており、各地で様々な鳥を対象に実施されています。この企画展では、バンディングがどのように行われているのか、どのような成果が得られているのかを多くの人に知っていただき、関心を持っていただければと思います。

Chapter 1. バンディングって何?

鳥につけられる足環はどんなもので、何のためにつけられるのか、バンディングの目的や方法について紹介します。



かすみ網による鳥の捕獲



金属足環を付けられるカシラダカ



金属足環とカラーリングを装着されたユリカモメ

Chapter 2. 足環でわかる鳥の渡り

足環でわかることのうち、多くの人々が最も興味をひかれるのが鳥の渡りでしょう。1羽1羽の鳥を識別することで明らかになった鳥たちの移動の例を、足環をつけて放した場所と再び発見された場所の地点を示した地図から読み解きます。日本にやってくる渡り鳥は、どこから来てどこへ行くのでしょうか?



手賀沼に冬に渡ってくるオナガガモの群れ



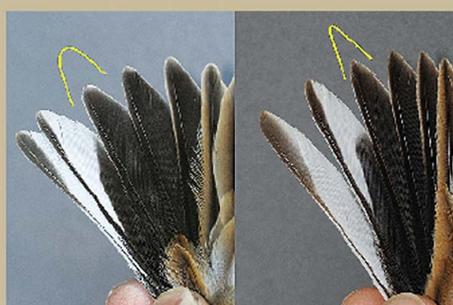
鳥類アトラス(山階鳥類研究所 2002)より

冬に日本で標識されたオナガガモが繁殖期に回収された地点。線で結ばれているのは放鳥後半年以内の回収記録。

Chapter 3. 足環でわかる鳥の暮らし

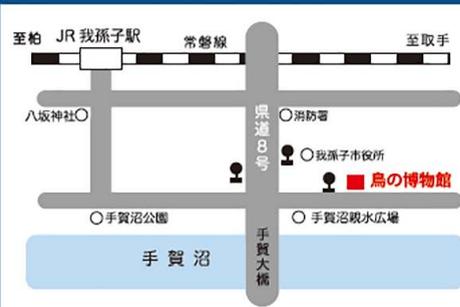


2013年に放鳥され、2019年に再び捕獲されたヒバリ。8年以上生きていたことがわかります。



オオジュリンの尾羽は成鳥(左)と幼鳥(右)で形が異なります。捕獲調査によって正確な年齢の比率を調べることで様々なことがわかります。

足環によって、鳥は何年生きるのか、どのくらい同じ場所にこだわるのかなど、さまざまな鳥の生態がわかります。捕獲調査をすることによって、詳しく大きさや形を調べたり、観察だけでは見つけづらい鳥を発見することもできます。標識調査が保全に役立つことを紹介し、協力する方法についてもご紹介します。



●鳥の博物館へのアクセス

【公共交通機関】

JR常磐線我孫子駅南口から市役所経由のバスで「市役所」下車、徒歩5分(土日・祝日は博物館行きバスあり)*無料駐車場あり

【問い合わせ】

千葉県我孫子市高野山234-3
電話04-7185-2212

企画展記念スタンプをおしてね!